



建 第 370 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

野々市町長 栗 貴



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

標記の件について別添のとおり回答いたしますので、よろしく取り計らい方
願います。

道路特定財源については、平成21年度から一般財源化する方針が示されたところですが、地方では多様な交通手段を有する大都市圏とは異なり、移動には自動車に頼らざるを得ないことから、道路整備に必要な財源の確保を要望いたします。

また、一般財源化されるにあたり、地方財政に影響を及ぼさないよう措置していただくとともに、見直しの考え方や内容についてお示し
願いたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

石川県野々市町

○現状

道路の維持管理費(特に修繕費用)が増大し、施設の老朽化、
あるいは機能面で利用者の要請に応えられなくなっている。

信号機や交通規制標識(公安委員会所管)の未整備により、道路
整備の効果を、早期かつ十分に発現できない。

○課題

計画的な維持管理や更新の推進を図る。

補助事業による新たな財源の確保を図る。

公安委員会所管予算を道路事業者で一括整備できる様に予算
措置を図る。

既成市街地の整備や住宅の耐震化等、災害への備えや防犯にも十分配慮した、安全で安心のまちづくりを目指す。

また、多様な人々が移動しやすいよう、交通結節点における利便性の向上を図る上でも、公共交通を推進する。

さらに、無電柱化を推進し、歴史的な建造物や伝統的な街並みの維持及び形成を目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

石川県野々市町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・安全性・利便性 の向上	新市街地の都市基盤整備は計画的に促進されている。今後は既成市街地の街なか再生に取り組んでいきたい。	狭隘な道路が改良整備されることにより、消防活動等の防災対策が進められる。	